

目的 学習指導要領の改訂により平成5年度から中学校家庭科で男女共修が義務づけられたが、被服領域では、従来、スカート等を題材とした衣服の製作に多くの時間が割り当てられていたことから、担当者の戸惑いも大きい。また、今回の改訂では情報教育の推進がうたわれ、全国の中学校でパソコン等情報機器の設置が進められている。しかし、パソコン学習が全ての授業内容で効果的であるとは限らず、パソコン学習に適した授業内容の選択と有効的なソフトが必要であると思われる。そこで、本研究では、中学校家庭科の被服領域の内容としてショートパンツの製作を取り上げ、パソコン学習のためのソフトを作成した。さらに、ソフトを活用した授業の展開方法について検討した。

方法 使用機器として、パソコン本体PC-9801DSに、作成時にイメージスキャナー、デジタイザー、プリンターを、起動時にはマウス、プロッターを周辺機器として接続した。プログラミングはMS-DOSをOSとしたQuick BASICを用いて行った。

結果 ショートパンツ製作の型紙作り（4時間）にパソコン学習を取り入れることとした。ソフトの内容は①パンツのイメージ画の作成②型紙の作成③型紙の配置と布の見積りの3部構成とした。①では画面の人体上でクリックすることによって任意のパンツ丈が得られ、シルエットは素材の剛さによって違いを持たせて、素材による影響についての学習も行えるよう配慮した。②では順次型紙の作成方法の説明を加えた。③では型紙を画面上で学習者がマウスを用いて配置し、効率的な配置の学習後、布の必要量を表示するようにした。パソコンを用いて、効率よく、多くの内容を関連付けて学習させることができると考える。